

第6次山元町総合計画（案）及び第5次山元町国土利用計画（案）に関する
説明会における意見等について

令和元年10月15日（火）10：00～

防災拠点・山下地域交流センター

「つばめの柱ひだまりホール」3階 会議室5

- ・今後の予定だが、パブコメの実施後どのような手順で計画を決定するのか。議会の承認を得るのか。
→（事務局）総合計画は10月28日までパブコメを実施。その後策定本部、専門部会、検討部会で検討し、審議会の答申、本部会議で決定後に12月議会で議決。
- ・審議会のメンバーはどのように選んだのか。肩書がある人はほとんど発言が無い。半分くらいは公募にすべき。
→3人が公募、その他17人は区長会、商工会、漁協、農協、体育協会、医師会などから。すでに任命され、委員名簿は広報掲載済み。これまで6回の会議を開催している。毎回の会議で必ず発言いただくよう議事進行をしている。
- ・行政区長会で、あなたの行政区では「キラリやまもと！みんなでつくる笑顔あふれるまち」を実現するためにどうすべきなのかという勉強会を行うべき。
→（事務局）ご意見を参考に今後検討する。
- ・町内には有能な人がたくさんいるが、活かされていない。
→（事務局）まちづくりに参加いただける風土をつくるよう考えていきたい。
- ・他所からみると、山元町はPRがあまりなされていない。県庁にも他の市町村のポスターは貼ってあったが山元町のポスターはなかった。
→（町長）ポスターを貼ることだけがPRのチャンネルではない。「いちごのふるさと山元町」などのキャッチフレーズをつくり、JRに広告を掲載するなどしている。夢いちごの郷の整備効果、プロモーションで着実に山元町の認知度はあがっている。今後、より一層町外に向けて効果的に発信していく。
- ・「子育てするなら山元町！」の意味が分からない。学校を卒業したら英語が喋れるとか、何か特徴があるのか。
→（町長）乳幼児や就学前などに向けた子育て支援策や医療費助成、給食費の無償化など

経済的負担を軽減する制度などを様々行っている。子育て関連施設もつくった。今後、「子育てするなら山元町！」と言われるようにより一層取り組む。

- ・工場誘致した結果、雇用につながっているのか。
→（事務局）実際は、求人倍率が高い状況にあり、マッチングが課題となっている。
- ・北上市や富谷市は企業誘致したことで土地が売れたり定住が進んだりしたりしている。山元もそのような企業誘致を進めるべき。
→（町長）北上市や富谷市は、トヨタなどの大企業が進出することで関連企業も増えるなどしている。小さな町が自分の力だけでやれる話ではない。県が力を入れて、企業に働きかけ、基盤を整備し、何十年もかけてようやく今、芽が出た状況。山元町がそのような大企業が進出できる要素があるかどうかという問題がある。
- ・公共交通は、役場の町民生活課に所管が移ったそうだが、公共交通は役場が横断的に取り組むべき課題。JR常磐線の最終便で帰ってくると、駅にタクシーが1台もない。
→（事務局）公共交通は、一つの課でどうという問題ではない。事業の開始当初は、町として取り組んだことのない新規事業だったので、企画財政課が担当した。一定程度、事業が定着してきたので事業を移管した。学校再編も控えているので縦割りにならないように対応していきたい。
- ・「高齢者が住むなら山元町」という考えはないのか。
→（町長）今の状態で何もしないと高齢化率は50%を超える。これを支えるのは大変。高齢者を支える国の制度も充実してきている。バランスの取れた人口構成、持続可能なまちづくりをするためには、財源の限りもあるので、子育ての支援を充実したい。
- ・仙台のベッドタウンとして、民間による住宅団地開発を推進してもよいのではないのか。
→（事務局）3つの新市街地はすべて完売した。用途地域指定による利便性の高いまちを広げることや、既存市街地の空き宅地の活用などにより人に住んでもらうことも考えている。
- ・何キロメートルの範囲を“コンパクト”と考えているのか。
→（事務局）「コンパクト」と表現したときに具体的な定義はないが、駅前に機能が集積することで、周辺地域の人もその利便性を享受できることを意味している。

○町長より

- ・自治会や行政区の問題は、お互いが話し合いでより良い活動をしてほしい。

- ・町の定住PRについては、市町村が互いに切磋琢磨しながら地域間競争の関係にある状況。そのうえで広域連携、機能分担していく必要がある。
- ・いちご狩りには、年間10万人が訪れてテレビにも取り上げられ、亘理町からはいちごが山元町に取られたと言われるほどになっている。「やまもと夢いちごの郷」には、3年で35万人を目指していたところ半年で50万人が来た。いずれにしても今は100%ではなく、今後継続して努力していくことが大事。
- ・大和町や富谷市の企業進出は、県と連携しながら自分が20歳代の頃から取り組んできたことが今になってようやく花開いたもの。企業誘致は、山元町の人員、体制のもと身の丈にあったかたちで取り組む必要がある。
- ・新幹線の最終便に合わせたダイヤの改編やJR常磐線の最終電車に合わせたタクシーなど、町がどこまで対応すべきなのかという問題がある。町民と一緒に考えていきたい。

以上

第6次山元町総合計画（案）及び第5次山元町国土利用計画（案）に関する
説明会における意見等について

令和元年10月15日（火）19：00～

防災拠点・山下地域交流センター

「つばめの杜ひだまりホール」3階 会議室5

- ・土砂災害のハザードマップが、町のHPに無かったがあるのか。
→（事務局）県がこの夏に詳細な調査を実施した。来年度には町がつくる予定。
- ・震災前は、隣組や結の心など皆で助け合う関係があったが、最近はそういうことが無くなった。
→（事務局）人間関係の希薄化は全国的な傾向だが、震災を機に県外の人とのつながりが生まれ、新市街地でも新しいコミュニティが生まれるなどしている。地域コミュニティを皆でつくって行っていただきたい。
- ・障がいのある子どもがいる親はものすごく苦勞している。
→（事務局）障がいのある方が、生まれた町で就労しながら安心して自立した生活ができるよう取り組んでいきたい。
- ・「課題3 町民や地域と連携した協働のまちづくりが必要」の“地域”の定義は？行政区の役員のなり手がいないなどの問題を抱えている。
→（事務局）人それぞれに“地域”の捉え方があると思う。様々なつながりでまちづくりを進めてほしいという思い。特に行政区については、今後のあり方を検討中。
→（町長）かつて農村社会では互いに貸し借りの関係で助け合いの関係があった。町外の都市部では行政区よりも町内会の認識のほうが大きい。つばめの杜地区では都会のような形で行政区がスタートしている。新しいコミュニティが生まれている中で、私たちがこれまで築き上げてきた「つながり」になるにはかなりの時間を要すると思う。
- ・集団移転した後に残った行政区は統合した方が効率的ではないか。
→（町長）年配の方と若い人では考え方の違いもあり、そう簡単なことではないと思うが、ぜひとも話し合いで進めてほしい。

以上

第6次山元町総合計画（案）及び第5次山元町国土利用計画（案）に関する
説明会における意見等について

令和元年10月17日（木）19：00～
防災拠点・坂元地域交流センター
「ふるさとおもだか館」2階 防災研修室

- ・津波被害によって第1～3種危険区域の見直しがあるのか。
→（事務局）総合計画の中で危険区域の見直しについては触れていない。危険区域についての見直しについては、津波新法に基づいて、県がハザードマップの作成を再来年度に作成を予定しているので、それを踏まえて検討したい。

- ・現計画の課題を資料として配布して欲しかった。現計画の課題、反省する点を踏まえて計画を策定したことの説明が足りない。
→（事務局）平成11年に第4次総合計画を策定。10年後に第5次総合計画を策定するときに震災を受けたため、平成23年の復興計画が第5次総合計画を兼ね、そこからの8年間は復興計画をもとに事業を進めてきた。その計画は昨年度に終了しているため、第6次総合計画は、今年度からの10年間の計画にしている。第5次総合計画である復興計画の課題は、まちの現状、復興計画の課題、町民アンケート結果を精査した課題の3つの課題に分類して整理している。

- ・国の人口の推計は7000人程度とあるがそれが現実であると思う。あまり期待を持たせた人口推計にしないほうが良いと思う。
→（事務局）人口問題研究所の推計は、概ねその通りになると言われている。何もしなければこの通りになる。人口減少による町の活力低下につながることを、町民の皆さまと共有しながら、様々な取り組みを行い、実現できるようにして行きたいのでご協力をお願いしたい。第6次総合計画の策定にあたっては、人口減することを強く意識ながら進めてきたところである。当初の将来像として、「笑顔がかがやきつづける」としていたが、審議会委員から「これからはみんなと進めていかなければならない」という指摘で、「みんなでつくる」という言葉を入れた。また基本理念2については、当初「ずっと住んでいたい」という地元の目線だけであったが、審議会委員から、外から住んでみたいと思ってもらうことが大事であるということから、現在の基本理念2となった。「ともに」「つながり」という言葉は、郷土愛、町民と一緒に取り組むことを重視する意味合いで基本理念に表現している。

・県が作成するハザードマップを踏まえて、町の危険区域の変更がありうるという認識で良いのか。総合計画で交流・定住ということに力を入れるのであれば、2つの駅周辺も宅地化できれば、定住の受け皿となりうる。

→（事務局）第1～3種危険区域の指定は町がしており、町として区域を変更することはできる。しかし、県が示すハザードマップのシミュレーションは、町が示しているものよりも厳しくなるという見方があるので、令和3年度以降に法律に基づいて示されるハザードマップを確認して、町として区域を見直すかどうか検討していきたい。

・町に多くの方が転入してもらいたい転入する場所がない、という現状を踏まえると、危険区域の変更についても検討してもらいたい。

→（事務局）町内の2駅周辺については、市街地整備により機能が集積して利便性が高まっている。しかし、山下駅東側の状況については、空いている土地もあるため、新たな居住エリアとして考えられるが、危険区域を外すかどうかについては、県の検討を踏まえてからになる。

・現在、移住定住の場所をどのように考えているのか。

→（事務局）坂元地区は、山下地区に比べて人口減が大きいので、移住定住の補助について加算制度を設けている。移住定住の場所として想定しているのは、既存集落の空いている土地、中古物件である。

・移住定住の方は何パーセント増えているのか。

→（事務局）人口は社会増になっているが、自然減が上回っているので減少している。補助制度を活用した転入者は640人。平成20年度からの累計になっている。

・これからも移住定住のPRは盛んにやるのか

→（事務局）積極的に取り組まなければならないと考えている。現在の主な取組としては、JRにPR公告を掲出している。

・台風で坂元川がもう少しで氾濫するところであった。中山から下りてきて部落を通過している坂元川の造りが複雑すぎるし、上流部で土砂採掘などを行っているので危機感を持っている。谷地川も氾濫する可能性がある。修復の予算もつけていかないと安心できるまちにはならない。

→（町長）排水については、坂元川の改修を進めている。上流部も含めて県の整備区間になっている。アベマサキさんの前のくねった部分、反対側の民地の方は県の方で整備する方向で決まっている。坂元川は、降水時の管理を地元と役割分担をしている。降雨時に市街地側に入る水路を止める仕組みになっているが、ごく最近まで機能していなかった

た。谷地川の排水も改修したことで、従来よりも排水能力が約 1.2 倍の能力アップになっている。また、除塵装置を年度内に設置する予定である。また、小河川の合流地点の不具合があるので、年度内に設計をして工事を進めていければ、さらに排水機能が高まる。移住定住については、子育て移住の専門課を設置して体制を整えて進めている。この度の台風で相馬市、新地町が断水になっているので、町として給水支援を実施しているところである。また、町の認知度の PR について、新たに整備した「夢いちごの郷」は町の PR に大きく貢献している。いちご狩りにも 10 万人の方が訪れており、更なる認知度アップに期待している。

「子育てするなら山元」をキャッチフレーズとして進めているものの、過大すぎるのではという指摘があるが、町としては大きな目標に向かって取り組むという姿勢であるので、それに向けて移住定住を進めていきたい。

工場を誘致したが雇用につながっていないという声がある。残念ながら、町民の皆さんが雇用の場として目を向けていないという現状がある。20 名の募集でも町内から 2 人ぐらいしか応募していない。

大和町、富谷市のような住宅地整備という声もあるが、本町は農業を基幹として進めてきている町であり、今から大規模な住宅地などに取り組んだとしても、経験上、長期的な事業になると思う。あまり大きな風呂敷を広げにくい。

震災後の行政区の再編について、住民の皆さんに意見を聞いたが、ゆくゆくはと思っていても、当座はこれまでどおりという意見であったので、そのままにしている。合戦原区と桜塚地区との融合については進めていくが、新たな住民は行政区に入れるという基本的な方針は守っていただきたい。

・谷地川について、台風時にアンダーパス道路に川水が流れ込んでしまった。谷地川の川幅を広げるなどの対応をお願いしたい。

→ (町長) 農業を基幹としているので、排水路の整備は農水省の基準がある。排水路の農地と住宅地の基準が違う。先ほども申し上げた通り、農業排水機能は 1.2 倍にしているので、今後とも工夫して対応していきたい。

・自然を好きで移住することを希望する人は多いと思う。町が土地を斡旋するなどして移住を PR してみてもどうか。

→ (町長) 駅前の利便性の高いところ、自然が豊かなところ、それぞれ好みがあるので、それらに対応した移住定住を進めていきたい。ただし、コンパクトなまちづくりを進めており、新たに排水施設、上水施設の範囲を広げることは難しい。

以上